

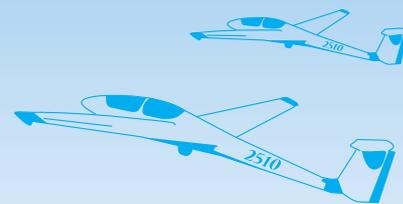
国際ロータリー第2510地区 2009～2010年度

ガバナー月信

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2010

1



CONTENTS

- ガバナーレター 1
- 第38回ロータリー研究会報告 2
- 第38回ロータリー研究会報告 3～6
- ガバナーエレクト研修セミナー報告 7
- ロータリー財団地域セミナーに参加して 8～9
- インターシティーミーティング(IM)を終えて 10
- 北海道ローターアクト交流会を終えて 11～12
- 2010～2011年度ガバナー補佐会議が開催される 13
- ガバナー公式訪問 14～16
- モントリオール2010国際大会最終のご案内 17
- 新会員の紹介
例会曜日・例会時間・例会場の変更等について 18
- クラブ幹事の変更について
文献資料室だより・会員訃報 19
- 米山記念奨学会寄付・ロータリー財団寄付 20
- 文庫通信・地区カレンダー(1月～6月) 21
- 出席率・会員数 22

国際ロータリー第2510地区

2009-2010年度 ガバナー 渡邊恭久

2009-2010年度 「ロータリーの未来はあなたの手の中に」
国際ロータリーテーマ ~The Future of Rotary is in Your Hands~



国際ロータリー第2510地区 2009-2010年度

【基本方針】

環境・人・子どもに目を向けよう

環境は地球人の普遍的テーマ

人は等しく生きる権利がある

子どもは未来を持っていてそれを拓く支援をしなければならない

【重点目標】

1. 小児ガンの子どもに夢や希望を与える「そらぷちキッズキャンプ」を支援しよう
2. 水の衛生確保と飢餓追放のため活動する「WCS」を支援するクラブを応援しよう
3. 会員増強のため純増を年度初めの会員数の「1名以上の会員増」を実行しよう
4. 会員は常なる活動の意識の中で「職業倫理を醸成」し職業奉仕に心がけよう



新年明けましておめでとうございます

国際ロータリー 第2510地区

2009-2010年度 ガバナー **渡 邊 恭 久**

Yasuhisa Watanabe
(滝川RC)

地区内会員の皆様におかれましては、ご家族がお揃いでご健勝の中に希望に満ちた新しい年を迎えられたこととお察し申し上げます。

さて、昨年は日米ともども政権が交代し、とりわけわが国においては、更なるデフレや二番底を迎えようとしている経済不況、混乱する一般社会や国際社会での不安定さは、新しい年を迎えてこれから気になることであります。

国際ロータリーとロータリー財団は、一昨年の世界金融危機、同時不況の渦に巻き込まれ、世界中のロータリアンから不安と関心を集めていましたが、最新の情報では、RIは今年度初から9月までの市場成果で1,100万ドル、財団では、5,800万ドルの投資収益を上げ、RIの予備金も6月期より増え続けており、当然、今会計年度のプログラムの運営費や、経費のために債券の精算はしていないとのことでもあります。市場はこれからも不安定さが続くと思いますが、それぞれの努力で新しい年は不安が払拭する年になりますようにと願っております。

地区や小生にとっても、昨年はとても速い一年でありました。7月1日、2700名の地区会員でスタートしましたが、7月末2764名、8月末2778名、9月末2782名、10月末2789名と微々ではありますが減少することなく、着実に増加してきたことは各クラブのご努力の賜と敬意を表するものであります。

1月、サンディエゴの缶詰の国際協議会でジョン・ケニーRI会長から「ロータリーの未来はあなたの手の中に」の今年度テーマを受け、帰国後ガバナー補佐研修セミナー、地区チーム研修セミナー、クラブ会長エレクト研修セミナーでRI会長の思いや具体的な方針を届けて以来、公式的な行事や会議、セミナーが7月のガバナー就任まで続いてきました。

ガバナー就任以来、73クラブの公式訪問は丁寧に回らせていただき、各クラブの多くが、その地域から特別に期待されていて、クラブの伝統、文化を引き継ぎ地域性を生かしながら活動している事に改めて認識を得ることができ、公式訪問を恙なく終了することが出来ました。

10月3～4日の第2510地区の地区大会は1480名が滝川の地に集い、ロケーションの不便、地方都市ゆえの施設の不自由さがあったにも関わらず、会員多くの支援とご理解を頂き、初期の目的が果たせたと自画自賛をしています。それにはこの地区大会のRI会長代理に盛岡の田口良一PDGのご出向を頂いたことでした。氏の品格と温情なお人柄は参加会員を魅了し、随所で親しく会員とお話を下さるなどで地区大会の深みと内容を豊かにし、熱い大会にお力を頂戴した事が大会の成功を印象づけた事でした。田口良一PDGをRI会長代理として迎えられた幸運は、昨年のヒットと言っても過言ではないと思っております。

今年度ガバナー任期も残すところ半年。「百里の道も九十九里を持って半分とす」の諺通り、地区のために最善を尽くしながら汗することを誓いつつ年頭のご挨拶といたします。



第38回ロータリー研究会報告

国際ロータリー 第2510地区

パストガバナー **丸山 淳士**

Jyunji Maruyama
(札幌真駒内RC)

2009年11月18日から20日、東京、ホテルグランパシフィック LE DAIBAを会場として、第38回のロータリー研究会が開催された。

招集者は黒田正宏2009-11年度国際ロータリー理事。

ジョン・ケニー会長ご夫妻の他韓国、台湾、米国など海外来賓の他、エド・フタ事務総長も出席された。

18日は、GETS、ロータリー財団セミナー、RI会長招宴が開催され、19日に開会式に続き第一日目の本会議では、報告事項として、2011-12年度のRI会長ノミニーにインドのカルヤン・バネルジー氏が選考された事が報告された。特別講演として日本交流分析学会理事長、杉田峰康氏の「最近の若者の心の叫び」があり、ポリオ撲滅のセッション。第2日目はメンバーシップとリーダーシップ、続いて職業奉仕と倫理のセッションが開かれ、続いて水・環境保全と保健、2010年規定審議会、識字率向上そしてオープンフォーラムとして参加者との議論も熱く交わされ、充実した研究会であった。

2510地区からは、渡邊ガバナーをはじめ、富原、石垣、伊藤、森本、小林、佐藤、塚原、丸山、酒井、矢橋各PG、佐々木GE、熊澤GNが元気に参加された。





第38回ロータリー研究会報告

国際ロータリー 第2510地区

パストガバナー **酒井 正人**

Masato Sakai
(函館五稜郭RC)

11月18日から20日まで第38回ロータリー研究会が黒田正宏(八戸南)RI理事の招集で東京台場のホテルグランパシフィックLE DAIBAで開催されました。対象者はゾーン1,2,3のガバナー、パストガバナー、ガバナーエレクト、ガバナーノミニーで関係者を含めると669名(海外38名)の登録があり、第2510地区からは渡邊恭久ガバナーをはじめとして、本会議にご婦人を含めて16名が出席しました。

来賓としてはJohn Kenny RI会長ご夫妻をはじめとして台湾、英国、韓国からRI理事ご夫妻の参加がありました。他にGlenn E. Estess財団管理委員長ご夫妻、李東建直前RI会長、Ed Futa事務総長の出席がありました。

早朝から夕方までの長時間にわたるハードなスケジュールにもかかわらず、熱心に最後まで聞き入るシニアリーダーの姿勢にはロータリーに対する情熱が感じ取れました。

以下にプログラムの要点をまとめて記載しましたが、後日発行される詳しい公式の報告書でご確認をいただきたいと思います。



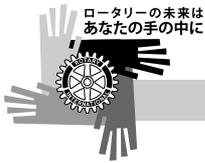
*** 本会議第1日目 ***

「ロータリー財団未来の夢計画」TRF田中委員

年次寄付が9,868万ドル総額は158,920万ドル。日本の寄付は1,545万ドルで世界の10%。昨今の経済状況下で管理委員会は過去のプログラムを苦渋の判断の中で廃止している。少なくともDDFを守ることを最優先にして様々な財政改革を実施している。

「ロータリー日本財団の動向」岩井 敏日本財団理事長

7年前、寄付金の税制上の優遇措置を受けるべきとして、特定非営利法人NPO法人を設立したが、これを解散し、6月11日に一般財団法人ロータリー財団を設立した。基本財産として関西国際大会の剰余金等1億1千万円を組み入れている。

**「2011-12年度RI会長ノミニー指名委員会報告」渡辺好政指名委員**

2009年8月10日委員会がありカルヤン・バネルジー氏(インド)が選任された。

「ロータリー米山記念奨学会報告」板橋敏雄理事長

現在の留学生800人に大学院14万円、大学10万円を毎月支給している。正味財産は8,300万円の増加、投資損失はゼロである。民間の奨学財団として日本で第1位であった。

*** 第1セッション「新世代への奉仕」****「日本の青少年交換・ローテックス・IACの現状と問題点」****関場慶博RI青少年交換委員会委員**

青少年交換プログラムは日本では受入れと派遣合計で800人前後であったが、最近では400人～300人迄減少した。日本だけが減少している。その理由の資金的問題で一つのクラブが受け入れることが困難なこと、ホストファミリーの成り手が少ないことである。二つ目には宗教、言語、文化の違いで発生するトラブルも問題がある。

*** 第2セッション「ポリオ撲滅を目指して」****「ポリオ撲滅を目指して」エステスTRF委員長**

世界のロータリアン10万人以上が参加して一億三千万人の子供たちに接種した。撲滅の宣言ができるまで、継続したチャレンジを御理解いただきたい。

「台湾でのポリオ撲滅プログラム参加」RID謝 三連(台湾)

2007年1月5日インドで、一斉投与に参加する機会を得た。10月24日はポリオディーと決定した。

「パープル・ピンキープロジェクト」RIDデビット・リニアット(英国)

ロータリーをPRし、参加を促し、1ポンドを寄付すると2人の子供に予防接種が出来るキャンペーンをした。主なターゲットは学校であった。ポリオを投与したときに、二重に投与しないためその子供の小指の爪に紫の印をつける事を参考にして、寄付をした子供の小指に紫の塗料を付けることにした。「紫の小指」のニュースが流されてから、キャンペーンが浸透し、「ブーム」になった。

「韓国でのポリオ撲滅プログラム事例」RID李 奎恒(韓国)

撲滅が困難な原因はポリオワクチン投与が必要な子供にたどり着くことが困難な状況や財政不足が最大の障害。「倦怠感」もあることも知っているし、関心が薄れているという問題もあった。事例として3690地区のロータリアンがインドで1000人のタイで3000人の子供に投与している。北朝鮮へポリオワクチン投与の支援をした。北へ35万ドルを寄贈し、80の冷蔵庫と2台のトラックを寄贈した。



「ポリオ撲滅への日本での現況」RID宮崎茂和(福井)

日本34地区へアンケートを取った。34地区中26地区から回答を得た。内容は

- ・地区の意識
- ・決議案07-68「ポリオが最優先目標」に対する認識
- ・3回目の募金目標の達成に対して
- ・ポリオワクチン投与の地区

「ポリオ撲滅への新たな展開」RRFC北 清治(浦和東)

ここ数年間はポリオキャンペーンにとって試練の年であった。「もどかしい」状況である。ポリオは1%への戦いであり、問題を抱えている国だけ残っている。

地区にDDFの20パーセントの寄付をお願いし、一般市民を対象とした募金活動を実施するよう各クラブに奨励してほしい。

*** 本会議第2日目 ***

* 本会議第3セッション 「メンバーシップとリーダーシップ」

「日本の会員数の変動」桑原 茂RRIMC(塩釜)

- ・会員数の動向 123,853名が91,835名に減少(2009年6月末)
- ・女性会員の重要性
- ・会員所属年数 1~3年 29% 3~5年 29% 11年以上 53%
- ・出席率が10年連続して低下している。

「世界での会員数とクラブ数の変動について」藤林豊明RRIMC(横浜鶴見北)

2009年6月末は33,790クラブ、1,234,527人であったが、10月31日現在では、33,695クラブ、1,216,983人の会員がいる。経費を減らす、例会の食事の金額を削減、例会場をホテルから安い所へ替える、昼食や夕食を止めて、お茶だけの例会にして努力しているクラブがある。これからは例会の開催曜日、時間についてもっと柔軟な組み合わせで対応が必要な時代が来たようだ。

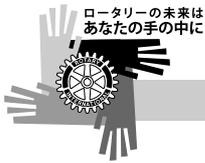
「ロータリアンとしてのリーダーシップ育成の具体的な方法」川妻二郎PDG(広島南)

多くのクラブの会長や指導者は、ロータリーに関する僅かな知識しかもたず、特に自クラブ以外のことや、クラブ活動を前進させてゆくのに必要な指導力が乏しいままに就任しているケースが多いようだ。リーダーシップこそが、私たちのクラブを成功に導く重要な要素である。

* 本会議第4セッション「職業奉仕と倫理」

「職業奉仕と職業倫理」(私の職業奉仕論)安平和彦PDG(姫路)

「ロータリー」とは、職業人の最も優れた倫理運動である。ただの倫理運動ではなく「職業人の経営哲学・経営の帝王学」「お金の儲け方を教えてくれる職業倫理運動」この中心思想が「The Ideal of Service」(奉仕の理想)という考え方である。

**「ロータリーの奉仕活動（職業奉仕以外）での倫理的な意思決定事例」川尻政輝PDG（東京世田谷）**

ロータリーは歴史的には職業倫理を重んじる事業及び専門職業人の集まりであり、個人的にも社会的にも、また職業上も高い倫理性と道徳的な価値観をもった活動が求められている。ところが、ロータリーが国際的に拡大し、奉仕活動が多様化した今、国際ロータリーのレベルで職業と倫理・道徳が不可分といえるでしょうか。

*** 本会議第5セッション「水・環境保全と保健」****「海外での地区奉仕活動事例」新藤信之PDG（東京立川こぶし）**

毎年ミクロネシアでソーラーアクアシステムによる海水から真水を取り出すプロジェクトを行っている。当初は米国製のものを使用していたが、現地で作成することで経費を節減できた。この度は上海で金型を作りプラスチック製にして現地組み立てをすることで大幅なコストダウンになった。

「地区での環境保全事例」櫻井権司PDG（東京武蔵野）

地区内の会員の協力を得てテレビ、冷蔵庫、エアコンの買い換え時に新旧の製品を一定期間使用時の消費電力を実測した。冷蔵庫、エアコンについては10年前のものとの差は大幅な削減になったが、テレビは大型を購入する傾向になり逆に増になった。

*** 本会議第6セッション「2010年規定審議会」****「2010年規定審議会重要提案」田中 毅PDG（尼崎西）**

規定審議会は2010年4月にシカゴで開催され、全世界から219の立法案が提案されている。E-クラブを規定する件は、これを存続させるために提案された。クラブ自治権に関する提案はCLPに問題提起するために出されたものと思われる。会員については従来に加えて、法人会員、準会員など数多くの会員資格が提案されている。

*** 本会議第7セッション「識字率向上」****「フィリピンでの識字率向上を中心とする3Hプログラム」石井良昌PDG（尼崎西）**

オーストラリアのPGリチャード・ウオーカー博士が主として先住民に英語を教える為CLEを開発した。この方法によるマニラ近郊での実施例を説明。CLEの教え方は単に英語を覚えるのではなく、お料理を作らせるなどアクティブな行動で英語を身につけさせる。

「識字プロジェクトの可能性」富岡義勝2830地区識字率向上コーディネーター（八戸）

識字率向上運動は「貧困の連鎖」を断ち切り、保健衛生面での向上、社会的格差の減少を目標にするなど、人道的側面が強調されてきた。各地区、クラブは識字に関する事業について実効性のあるプロジェクトを計画すべきだと思われる。ポリオ、水保全の対象となる地域は、識字率向上がのぞまれていることが多いと思われる。



ガバナーエレクト研修セミナー報告

国際ロータリー 第2510地区

ガバナーエレクト **佐々木 正 丞**

Masatsugu Sasaki
(札幌RC)

「GETS」ということは、何かしら、おそろしいもの、として私の中にイメージづけられていた。子供の頃の「抜き打ちテスト」と同じような感じである。そのGETSに行ってきた。それは思った程ではないとも言え、或いは、それ以上だったかも知れない。

運悪く開講1番目の質問は私に飛んできた。「あなたの地区の長期計画について説明して下さい」途端に私の胃の腑は上がり下がりした。「長期計画とは何のことだ？ロータリーは単年度主義ではないのか…？」度胸をきめて答えようとした。「アイ・ドント・ノウ」と。ところが、世の中にはまじめな人も居るもので、横合いから「先生、それは、こうこう、こういう場合のことで良いんですか」と。それに呼応して何人かの声が重なり、やがて先生は私に指名していることを忘れてしまったのか、次のテーマに行ってしまった。「助かった」という思いと、若干の反省があった。他の人は熱心だなと。

クラス編成替えと担当の先生も変って、二度目のご下問があった。それは会員増強のテーマである。ここでも私は失敗した。良い解答が出来なかったのである。「先生の言われるような勢いで北海道においては会員増強は出来ません。ロータリーの社会貢献とは寄附をするだけかと言われてしまいます」。ここでもまた、他の地区の人々の立派な発言が続発した。いわく、「米山学友会でクラブができました。」また、いわく、「職業分類を見直しました…」札幌に帰ってから、私は何人かの人に私の発言について聞いてみた。「あなたの言うのが当然です。そんなに、そんなに、寄附をしろ、人を増やせ、なんてうまくいくものではない」という声が多かった。が、私にはしこりが残った。「では、他のクラブの人達のあの情熱はどうしたことだ」と。確かに先生(研修リーダーと呼ぶ)の熱心さに引きづられた面もあるのかもしれないが、「少し違う」と私は思った。「よその地区だって経済的に苦しいはずだ。要は『ロータリー』についての理解が私とは、まるで違うのではないかと」。

もともとロータリーには四半世紀以上在席しているから、その輪郭についてはわかっているつもりだった。しかし、「何の為にロータリーに入っているのか」という問いに自分自身が明確に答えられない。「やり直した!」と思った。

来たる地区大会において、また、ガバナー公式訪問において、私は地区内ロータリアンと議論してみたい。



ロータリー財団地域セミナーに参加して

地区ロータリー財団委員会

委員長 **岩城 秀晴**

Hideharu Iwaki
(札幌南RC・PG)

財団の地域セミナーに参加したのは、これで3度目になりますが、この研究会と併行したセミナーの他に、毎年7月1日に実施されるセミナーを加えると6回目になるのです。どうも年度、年度によつて取扱い手続きが変化することが多く、特に今回は財団が実施しようとしているプログラムに事業資金の減少の関係からか、教育的プログラムを減少させて、人道的プログラムに移行しようとするスタンスに変化しているように感じられます。それは社会的なニーズによる変化だと思われます。それによって、未来の夢計画にとり上げられた補助金制度を多く採用しようとするようになっております。

以上は大づかみで申しあげましたが、ロータリー財団に対する考え方には変化はありません。そして、ロータリアンが成すべき仕事は奉仕であり、その奉仕も多くの種類がありますし、その1つに財団のプログラムへの御理解を深めて戴き、より更なるロータリー財団への御理解を戴くことによって、浄財への心が開けることとなります。そして、御寄附への道すじが明るく見えるものと信じております。

I プログラムについて

A 従来までの主なプログラム

(1) 教育的プログラム

- ① 1学年度国際親善奨学金
- 2009-10 1学年 77名
- マルチイヤー 54名
- 3,6ヶ月 12名
- 計 143名

従来の国際親善奨学金は2011年10月1日
で締切

2011-12年度は受入れを実施し、
2013-14年からは新補助金制度となるの
で、新地区補助金となります。

② GSE

WFを使う場合 2010-11年度

③ ロータリー平和フェロウシップ

当地区は該当者なし

④ 新地区補助金の枠の中でマルチイヤー 奨学金

文化研修

(2) 人道的プログラム

① 地区補助金

2013-14年度 新補助金制度の下での
グローバル補助金または新地区補助金
となります。

② マッチング・グラント

2010-11年度 ノンパイロット地区同士
のマッチング・グラント

2011-12年度 同上

2012-13年度 同上



2013-14年度 新補助金制度の下でのグローバル補助金または新地区補助金マッチング・グラントの件数は、1560件で書式が変更しました。

- ③ ボランティア奉仕活動補助金は廃止しました。
- ④ ポリオ・プラス・プログラム
国際ロータリーもロータリー財団も全力をあげる。

B未来の夢計画（これからの財団プログラム）

(1) 新地区補助金

地区の意思により、人道的、教育的に支援する。

① グローバル補助金、新地区補助金

◎ 人道的プログラム

平和と紛争、疾病予防、水と衛生、母子の保健、基礎教育、経済開発、地域開発はDDFによって支出

◎ 国際親善奨学金は奨学金となる。

世界での件数904件(2008-09)マッチング・グラントは人道的プロジェクトとなる。2ヶ国が力を合わせて、人道的プロジェクトを実施する。日本の参加チームは22地区GSEは職業研修チームとなる。(世界は558チーム、日本は15チームが参加)滞在費、旅費をDDFで賄うことができる。交換であることは義務付けない。地区もクラブも参加できる。

◎ 会計制度の明確化

新補助金制度は2013-14年から全地区が参加することになります。

以上が、かいつまんだ今後のプログラムの要点ですが、2013-14年度から本格的な実施になるので、より深めた研鑽をして地区会員の皆様に対して、御説明に努めて、御理解を深めさせていきたいものと考えております。

II 寄付

(1) 年次寄付は日本全体で、2011-12年度は		
DDF	585,000千円	50%
WF	585,000千円	50%
計	1,170,000千円	

運営費と人件費が使用されます。

- (2) 恒久基金寄付は元金は使わないが、投資収益でDDFとWFに向ける
- (3) 使途指定寄付
寄付の種類については、省略致します。

以上について、片岡前室長さんから説明があり、DVDによるものであるから当地区も入手しました。

III その他

2008-2009年度のロータリー財団の財政については、川尻RRFCが財政の正常化についての説明をされた。

ロータリー日本財団の動向について、岩井ロータリー日本財団理事長より説明があつたが、日本全体が公益法人の改善を実施している時に、ロータリーが日本に寄付の使用先が日本国内に向けていない寄付金は政府では許可がなかなか難しい点を述べられた。

ロータリー2億ドルのチャレンジはインドのポリオの現状をスライドで我々に訴えていたが、日本ではポリオは少ないであろうが、世界ではまだまだの様である。

ロータリーカードの推進と恒久基金の重要性を述べられた。

以上、具体的なプログラムの御説明を記しましたが、今は改正の過渡期的な期でもあり、十分な解説は難しいのですが、今のところを御紹介を申し上げ、財団地域セミナーの御報告と致します。



インターシティーミーティング(IM)を終えて

第2510地区 第12グループ

ガバナー補佐 **菅野 嘉一**

Yoshikazu Sugano
(苫小牧東RC)

私がガバナー補佐への推選を受けて、早いもので1年を過ぎ、何かと現在忙しい思いをしています。担当各クラブは苫小牧クラブ・苫小牧北クラブ・白老クラブ・所属クラブの苫小牧東クラブであります。

IMが苫小牧グランドホテルニュー王子において10月17日15時より132名の参加者の中で行われました。残念ながら渡邊ガバナーは出席できず、神部代表幹事の出席のもと行われました。渡邊ガバナーの基本方針が「環境・人・子供に目を向けよう」とのことでしたので環境に対しての事業を組むことで決まりました。私の所属クラブは長年に渡り地域の環境に関心を持ち、いろいろ環境問題に取り組んできました。中学校の生徒さんをお願いして環境に関する標語を募り、その中で環境標語を中学生から集めた時に、苫小牧は郵便番号が053から始まるので053(ゼロゴミ)を頭にもって来て、ゼロゴミ(053)のまち苫小牧という標語が入選をしました。その後公園等に看板を設置してゼロゴミの街にという考えから、市役所でも「053」を利用するようになりました。そんな関係もあり、IMecoライフ大作戦(053ステージ)と題して、苫小牧市環境衛生部ゼロごみ推進室長、若林義則氏を招いて開催しました。講演の中で、市民一人ひとりが自分たちの暮らしを見つめなおし、ゴミの減量化へ向けて行動することでゼロごみのまちを目指す「ゼロごみ大作戦」を苫小牧市として取り組んだ。でも環境問題とはごみだけではありません。そこで私たちの生活と環境の深い関わりを知り、より環境にやさしいライフスタイルで毎日を暮らせるように「地球環境」「資源環境」「自然環境」「環境教育」という4つのテーマを柱に、さまざまな環境問題に町ぐるみで取り組むことを目指してみんなでガンバろう、そしてecoライフ大作戦を理解して欲しいと話されました。苫小牧市民の目標として「1人1日10gのごみ排出量の削減」「1人1日1.5kgのCO²排出量の削減」を実現させようと訴えていきましょう。

私も話を聞いていて、ごみは女房に任せっきりで分別もキチンと出来ないありさまで、ごみの減量には実感としてなかなかしていなかったことに気づき、又、会員の皆さんも、話としては分かるが実行するには努力が必要との話がありましたが、私たちロータリアンとして地域を指導していくものにとって、勇気と実行が必要と考え12グループの中で少しでも多くの人々に理解をしてもらえる様に行動していかなければと思っております。

北海道ローターアクト交流会を終えて

第2510地区ローターアクト

第8回北海道ローターアクト交流会
実行委員長

枝村 達也

Tatsuya Edamura

平成21年11月22日・23日の両日、千歳市にて「第8回北海道ローターアクト交流会」を開催いたしました。ご多忙中にも関わらず沢山のロータリアンの皆様にご参加を頂き誠にありがとうございました。私たち千歳ローターアクトクラブの現メンバーが、このような大きな行事をホストする事が初めてでしたので不安な事ばかりでした。準備期間中には提唱ロータリークラブを始め、沢山のロータリアンの皆様、他クラブのアクター達から、様々なアドバイスを頂き、また、当日ご参加頂きました皆様方のご協力のもと、無事に交流会を成功させる事が出来ました。心より厚く御礼申し上げます。

今回の交流会のテーマ『CO²+~Community One 2500+2510=1~』のもと、1日目のプログラムでは、コミュニケーションを図りながら、交流や親睦を深められる様に、『ペットボトルロケット製作』を行いました。ロータリアンの皆様にもご参加頂き、中にはアクターよりも熱心に、楽しそうに製作に取り掛かっているお姿を拝見し、とても嬉しく感じました。今回の交流会で、2500地区のアクターと交流や親睦を深められた事はもちろんの事、沢山のロータリアンの皆様と楽しいひと時を過ごせた事も、本当に嬉しく思います。

2日間という限られた時間ではございましたが、実行委員長という役目を担い、様々な事を経験し、学ぶ事が出来ました。交流会が無事に終了するまでは、不安や緊張ばかりでしたが、今は達成感で満ち溢れています。交流会を通して身に付けた事を、今後のアクト活動に活かして行きたいと思います。今後、より良い活動を行う為にもローターアクトクラブに対するご支援・ご指導の程、宜しくお願い申し上げます。



北海道ローターアクト交流会の趣旨と経緯

【趣旨】 同じ北海道で活動する者同士、地区という垣根を越えて、情報交換を行い、親睦を深め、自分自身の職業やアクト活動に良い影響を与える環境を提供する。そして両地区の交流強化、自己研鑽を促す。

【経緯】 2500地区1998～99年度地区協議会の会長クラス懇談会にて、第2510地区の情報がほとんどない為「交流会をしてはどうか」という意見が上がり、これを受け翌年度の役員が2510地区と協議し、2001年10月21日帯広市にて両地区ガバナー立会いの下「友好調印式」が執り行われた。その内容は「以降3年以内に、交流会の実施・継続・内容について、両地区で協議をして答えを出す」というものであった。2002年11月23・24日両日に、記念すべき第1回交流会が2500地区のホストにより開催された。以降、毎年両地区交互にホストをして開催していく事となり、本日第8回北海道ローターアクト交流会の開催に至る。





2010～2011年度ガバナー補佐会議が開催される

国際ロータリー 第2510地区

次期代表幹事 **久保田 俊 昭**

Toshiaki Kubota
(札幌RC)

2009年12月12日(土)に標記会合が開催され、地区内12名の次期地区ガバナー補佐が札幌グランドホテルに集りました。

当日は、冒頭佐々木ガバナーエレクトからご挨拶があり、その後、塚原地区研修委員会リーダー(パストガバナー)から「ガバナー補佐就任にあたって」、丸山地区研修委員会委員(パストガバナー)から「会員増強について」、酒井地区研修委員会委員(パストガバナー)から「ガバナー補佐の役割について」、それぞれご講話を頂きました。

佐々木ガバナーエレクトは挨拶の中で、①来年1月に開催されるサンデイエゴでの国際協議会で次期RI会長のRIテーマを勉強してくる。②地区の目標については、RIテーマを受けて補佐の皆さんと相談し、2月27日の地区チーム研修セミナーで発表したい。③今後の行事として、2月27日に地区チーム研修セミナー、3月13・14日に会長エレクト研修セミナー、4月18日に地区協議会、そして10月16・17日に地区大会を開催予定している。④地区大会では、ロータリー活動の原点・初心に戻って、クラブ活動の現況(奉仕活動、親睦等)を見つめ直し、地区内の実情を補佐や会長さんに発表してもらい、一般会員とも意見交換をしたいので、現補佐からの引継ぎを十分に行ってもらいたい。⑤クラブ公式訪問は、個別訪問を原則とするが、皆さんのご要望を別途お寄せいただきたい等のお話がなされました。

会議では、お三方のパストガバナーから密度の深いお話をいただき、これからの活動に大いに参考になったものと思われませんが、各クラブの会長エレクト、クラブ次年度役員等の皆様の絶大なるご支援、ご協力をお願い申し上げます。



ガバナー公式訪問

11月

11月5日(木)

5G 札幌東ロータリークラブ

快晴の秋空となった11月5日、午前10時から渡邊ガバナー、江口ガバナー補佐、神部地区代表幹事をお迎えし、荒岡会長・鈴木会長エレクト・坪井幹事・矢橋副幹事の7名で会長・幹事会を開催致しました。

荒岡会長から、創立50周年を終え100周年に向けて第一歩となる今年度、更なる価値あるロータリーを築くため、この経済不況の中「企業あつてのRC」という観点から、倫理を正して職業紹介をし合い、活発な職業奉仕活動を通じ地域経済に貢献したいという思いで、毎月1回、「夢を叶える職業紹介」を行う例会や、「ヒブワクチン接種促進活動」などの取組みについて掘り下げた意見交換を行いました。

11時からクラブ協議会を開催し、当クラブ各委員長より、今年度の活動計画と活動状況等について説明し、ガバナーから一つひとつ示唆に富んだ講評を頂きました。

例会では、特に「そらぶちキッズキャンプ」への支援に対する熱い思いをお聞かせ頂き、終始和やかな雰囲気の中で、公式訪問は終了いたしました。



スローガン	出会いを大切に、友愛の輪を広めよう!
創立年月日	1959年2月19日
RI認証年月日	1959年3月14日
スポンサークラブ	札幌南ロータリークラブ
例会曜日	木曜日
開始時間	12時30分
例会場	札幌パークホテル

11月10日(火)

3G 当別ロータリークラブ

11月10日(火)渡邊ガバナー、嵯峨ガバナー補佐をお迎えし、公式訪問例会が開かれました。会長・幹事懇談会、クラブ協議会と渡邊ガバナーの温なお人柄と嵯峨ガバナー補佐の的確な進行に助けられ、当クラブの活動状況をご報告申し上げ、ご指導いただきました。例会では渡邊ガバナーより「そらぶちキッズキャンプ」へ支援をするきっかけやなぜ支援するのかというお話、そして子どもたちにどのような影響を与えているのかを伺うことができました。話を伺いつつ、その子どもや親たちへ想像を巡らせ、共感をする事の重要性を再度確認いたしました。



創立年月日	1976年4月6日
RI認証年月日	1976年4月19日
スポンサークラブ	札幌北ロータリークラブ
例会曜日	火曜日
開始時間	12時30分
例会場	(株)田西会館

11月12日(木)

2G 芦別ロータリークラブ

11月12日(木)、渡邊恭久ガバナー、北谷ガバナー補佐(神部地区代表幹事、福井地区幹事)をお迎えして公式訪問が開催されました。午前中の会長・幹事会では、櫻井会長より芦別の地域事情とクラブの現状の報告の後、ガバナーよりクラブの活性化について貴重なアドバイスをいただきました。



続くクラブ協議会では各委員会より活動報告がされ、ガバナーより、当クラブが従前から行っている「物故者追悼例会」「ロータリーの森の整備」「海外青年協力隊のカンボジア難民活動に対する支援」や今年度の新規活動である「ロータリー新聞の発行と芦別市内全戸配布」「小鳥の巣箱作り」、「個人寄付で3人のマルチプル・ポール・ハリス・フェローと5人のポール・ハリス・フェローが達成されたこと」等の報告に対し、温かいご評価と「ロータリーの公共イメージを高める運動の必要性」のご助言をいただきました。

午後からの例会では久々に100%出席を達成でき、ガバナーの温かいお人柄と第2グループご出身ということも相まって、和やかに盛会のうちに全日程を終了することが出来ました。



スローガン	ロータリーに対する市民の認識と理解を深める
創立年月日	1957年12月4日
RI認証年月日	1958年3月18日
スポンサークラブ	岩見沢ロータリークラブ
例会曜日	木曜日
開始時間	12時15分
例会場	芦別商工会議所

11月12日(木)

3G 美唄ロータリークラブ

午後4時30分より渡邊ガバナー、嵯峨ガバナー補佐、福井地区幹事をお迎えして、会長・幹事懇談会が終始和やかな中で行われました。

続いて5時20分よりクラブ協議会を開催し、ガバナー、ガバナー補佐のご指導を頂き、多くの事を学び改めてロータリーの良さを教えさせられました。

6時20分の記念写真の後、1776回の夜間例会での渡邊ガバナーの講話では、ガバナー就任の経緯という身近な話題から重点目標である「そらぷちキッズキャンプ」のお話まで、熱心にわかりやすくお話し頂き、とても有意義な公式訪問で有りました。



スローガン	自他共栄
創立年月日	1973年5月31日
RI認証年月日	1973年6月7日
スポンサークラブ	岩見沢ロータリークラブ
例会曜日	木曜日
開始時間	12時15分
例会場	美唄ホテルスエヒロ

11月24日(火)

2G 赤平ロータリークラブ

11月24日(火)午前10時よりガバナー公式訪問が始まりました。

73クラブ中の71番目の訪問となりました。

渡邊ガバナーも「身内のクラブへの訪問の心持」と述べられ、協議会・例会も、お互いリラックスした雰囲気の中で、有意義な公式訪問となりました。

渡邊ガバナーは重点目標のひとつの、小児がんの子どもに夢や希望を与える「そらぷちキッズキャンプ」にふれ、子ども達への思いを熱く語られ、広く支援を要請されました。この熱き思いは我々の心にも響きました。例会終了後、出席者全員で記念撮影をして終了しました。



創立年月日	1960年12月13日
RI認証年月日	1961年2月9日
スポンサークラブ	岩見沢ロータリークラブ
例会曜日	火曜日
開始時間	12時30分
例会場	赤平市交流センターみらい

11月25日(水)

2G 砂川ロータリークラブ

砂川パークホテルに渡邊ガバナー、福井地区幹事をお迎えし午前10時から会長・幹事会、午前11時からクラブ協議会、そして午後0時30分からの例会を開催いたしました。

会長・幹事会では、そらぶちキッズキャンプの質疑に対して熱っぽく語られ、その後、女性会員についての意見交換がありました。

クラブ協議会の途中から神部地区代表幹事もご出席され、各委員長からの活動報告に対し、渡邊ガバナーから明快なご助言を頂きました。

例会での講話では、地区大会のお礼、国際協議会、7つのテーマ、キッズキャンプの心温まる事例等をお話されました。



スローガン	先達の良質と情熱(おもい)を未来の懸け橋に
創立年月日	1970年1月13日
RI認証年月日	1970年1月30日
スポンサークラブ	滝川ロータリークラブ
例会曜日	水曜日
開始時間	12時30分
例会会場	砂川パークホテル

11月26日(木)

2G 滝川ロータリークラブ

11月26日(木) 渡邊ガバナーがおおよそ3ヶ月間を経て、73クラブ最後の公式訪問がホームクラブにて行われました。

川口会長をはじめとするクラブ会員が「歓迎 親愛なる渡邊ガバナー」の言葉のもと本当にご苦労さまでしたの気持ちのもと迎えることが出来ました。

公式訪問例会を行うにあたり11時より会長・幹事懇談会にはじまり例会へと進んで参りました。渡邊ガバ

ナーより各それぞれのクラブを廻られ様々なクラブの味わい、また伝統とか習慣とか地域の風土とかそれぞれのクラブの香りをもとにお話を伺い、あらためてロータリークラブについて学習させていただきました。また一致団結のもと足並みを揃え主管しました地区大会においても多くのクラブより高い評価をいただいていることを述べられ、あらためて感激を賜りました。そして地区の本年度の基本方針のもと4つの重点項目の中のひとつである「そらぶちキッズキャンプ」についてもお話を受け、日頃から強く滝川として自負してはいますが今後の更なる支援の大切さを再認識を致しました。

73クラブの公式訪問は終わりましたが今後12グループのIM、10クラブの周年行事、WCS事業の検証ツアー、モンリオールでの国際大会等、多忙な日々が続くことと思いますが、今後も引き続きご活躍をされますよう滝川クラブ会員が心よりお祈り申し上げます。



スローガン	人の和 クラブの和
創立年月日	1958年8月16日
RI認証年月日	1958年11月13日
スポンサークラブ	旭川ロータリークラブ
例会曜日	木曜日
開始時間	12時30分
例会会場	ホテルスエヒロ





CANADA
20-23 JUIN/JUNE
MONTREAL 2010
ROTARY INTERNATIONAL CONVENTION

モントリオール2010国際大会最終のご案内

地区オン・ツー・モントリオール委員会

委員長 **酒井 正人**

Masato Sakai
(函館五稜郭RC・PG)

第一報で既にご案内いたしましたでしたが、2010年RI国際大会は6月20日から23日にかけて、カナダのケベック州モントリオールで開催されます。当地区のオン・ツー・モントリオール委員会は国際大会のためA・Bの2コースを企画いたしました。最終日程・料金が確定いたしましたのでご案内いたします。

Aコース行程表

旅行代金 お一人様 305,000円

(ビジネスクラス利用代金885,000円) (シングル利用58,000円プラス)

目次	月日(曜)	都市名	現地時間	交通機関	行 程	朝	昼	夕
1	6/18 (金)	新千歳発	08:15	航空機	国内線にて成田へ(又は羽田経由) 出国審査後、空路シカゴ経由 又北米内乗継にて モントリオールへ (日付変更線通過)	×	×	機内
		成田着	09:55					
		成田発	11:45	航空機	着後:入国審査を済ませ、 ホテルへ (モントリオール泊)	ホテル	×	×
		シカゴ着	09:15					
		シカゴ発	11:15	航空機				
モントリオール着	14:25	航空機						
2	6/19 (土)	モントリオール 滞在	終日		■終日自由行動 (モントリオール泊)	ホテル	×	×
3	6/20 (日)	モントリオール 滞在	終日		★日本人親善朝食会 ★世界大会参加 ★北海道ナイト(夜) ※詳細は改めてご案内いたします。 (モントリオール泊)	ホテル	×	×
4	6/21 (月)	モントリオール 滞在	終日		■終日自由行動 (モントリオール泊)	ホテル	×	×
5	6/22 (火)	モントリオール発	09:59	航空機	出国手続きを済ませ、 ニューヨーク又は 北米内乗継にて 帰国の途へ (機内泊)	ホテル	機内	機内
		ニューヨーク着	11:30					
		ニューヨーク発	13:10	航空機				
6	6/23 (水)	成田着	16:10	航空機	入国手続き後、 国内線にて新千歳へ (又は羽田経由) 着後解散	機内	×	×
		成田発	18:40					
		新千歳着	20:25					

※注意:発着時間、機関などは変更になる場合がございます。

★利用予定ホテル:クラリオンホテル又は同等クラス。

★最少催行人員:6名 ★添乗員:現地係員がご案内いたします。

■A・Bコースとも旅行費用に北海道ナイトの料金は含まれておりません。

【申込締切】 2010年1月22日(金)

*当地区での参加者人数はホテルの確保並びに飛行機座席の
関係から、先着順で受付満員になり次第締め切らせて頂きます。

【お問合せ・お申込先】

株式会社 日本旅行北海道 札幌支店
札幌市中央区南1条西4丁目 日本旅行札幌ビル4階
電話:011-208-0170 FAX:011-208-0174 担当:斉藤・西村

Bコース行程表

旅行代金 お一人様 550,000円

(ビジネスクラス利用代金1,030,000円) (シングル利用85,000円プラス)

目次	月日(曜)	都市名	現地時間	交通機関	行 程	朝	昼	夕
1	6/15 (火)	新千歳発	13:45	航空機	国内線にて成田へ(又は羽田経由) 出国審査後、 空路バンクーバーへ (日付変更線通過)	×	×	機内
		成田着	15:25					
		成田発	19:00	航空機				
		バンクーバー着	10:50	専用バス	着後: バンクーバー市内観光と キャピラノ渓谷観光 (バンクーバー泊)	機内	○	○
2	6/16 (水)	バンクーバー ビクトリア バンクーバー	終日	フェリー	[終日]フットチャートガーデンと ビクトリア市内観光フェリーで ビクトリアへ。四季折々の花々 が美しいフットチャートガーデン 州会議事堂を観光 (バンクーバー泊)	ホテル	○	○
3	6/17 (木)	バンクーバー発 カルガリー着 バンフ着	午前 昼 夕方	航空機 バス	空路、カナディアンロッキーの玄関口、 カルガリーへ。着後:バンフへ ◆サルファース山の展望台からロッ キーの山々のパノラマをお楽しみ いただきます。 着後:ホテルへ (バンフ泊)	ホテル	○	○
4	6/18 (金)	バンフ カナディアン ロッキー バンフ	終日	専用バス	[終日]世界遺産カナディアンロッキー観光 ◆コロフト氷河の雄大な山々の 景観や「カナディアンロッキーの宝5」 とたたえらるるレイク・ルイス・ペイト レイク等の魅力をお楽しみください。 コロニアル大氷原では、雪上車による観光を お楽しみください。(バンフ泊)	ホテル	○	○
5	6/19 (土)	バンフ カルガリー発 モントリオール	午前又は午後 夕方又は夜	航空機	バスにてカルガリーへ 空路、モントリオールへ (カナダ国内乗継あり) 着後:ホテルへ (モントリオール泊)	ホテル	○	○
6	6/20 (日)	モントリオール 滞在	終日		★日本人親善朝食会 ★世界大会参加 ★北海道ナイト(夜) ※詳細は改めてご案内いたします。 (モントリオール泊)	ホテル	×	×
7	6/21 (月)	モントリオール発 トロント (バンクーバー)	08:00 12:00	航空機 航空機	出国手続きを済ませ、 トロント又は バンクーバー経由にて帰国の途へ (機内泊)	ホテル	機内	機内
8	6/22 (火)	成田着	15:05	航空機	入国手続き後、 国内線にて新千歳へ (又は羽田経由) 着後解散	機内	×	×
		成田発	19:00					
		新千歳着	20:40					

※注意:発着時間、機関などは変更になる場合がございます。

★利用予定ホテル

*バンクーバー:ハイアットリージェンシー又は同等クラス。

*バンフ:リムロックリゾート又は同等クラス。

*モントリオール:ヒルトン・モントリオール・ラベル又は同等クラス。

★最少催行人員:15名 ★添乗員:全行程同行いたします。

【国際大会登録に関して】

*事前登録の最終締切は3月31日です。それ以降は現地での登録となります。*大会登録はe-mailかFAXでRIに直接申し込んでください。
登録費はお一人様325ドルです。*登録方法の詳細は2010年国際ロータリー年次大会「登録およびチケット申込書式」を参照ください。

新会員の紹介 (敬称略)



阿戸 孝之

あと たかゆき

(伊達RC)

- 入 会 / 12月1日
- 職業分類 / 土木業



川西 正敏

かわにし まさとし

(伊達RC)

- 入 会 / 12月1日
- 職業分類 / 各種商品小売業



名取 一仁

なとり かずひこ

(伊達RC)

- 入 会 / 12月1日
- 職業分類 / 貨物自動車運輸



津田 憲彦

つだ のりひこ

(苫小牧RC)

- 入 会 / 11月27日
- 職業分類 / 石油精製



徳丸 康敏

とくまる やすとし

(岩見沢RC)

- 入 会 / 11月19日
- 職業分類 / 損害保険業

例会曜日・例会時間・例会場の変更等について

砂川RC	1月13日(水)新年交礼会 16:30～ 場所:砂川パークホテル
滝川RC	1月7日(木)新年会 18:00～ 場所:滝川ホテル 三浦華園
江別RC	1月7日(木)、1月28日(木)移動例会 12:30点鐘 両日とも例会場は、セレモニーホールはやし大麻(江別市大麻中町26番地1)
江別西RC	1月12日(火)の例会を下記に変更 1月16日(土)新年夜間例会 18:00～ 場所:いろは居酒屋(江別市野幌町57-2)
岩見沢東RC	1月 5日(火)休会 1月19日(火)の例会を下記に変更 1月14日(木)岩見沢RC・岩見沢東RC新年合同交歓会 18:00～ 場所:ホテルサンプラザ
小樽RC	1月12日(火)夜間例会 17:45～ 場所:グランドパーク小樽
伊達RC	1月 5日(火)休会
室蘭RC	1月28日(木)例会時間を12:30から18:00に変更
室蘭東RC	1月27日(水)創立49年記念家族同伴夜間例会 18:30～ 場所:蓬峽殿
室蘭北RC	1月5日(火)夜間例会「新年交礼会」18:30～ 場所:ホテルサンルート室蘭
白老RC	1月 5日(火)休会 1月26日(火)新年家族例会 18:00～ 場所:白老経済センター(白老町大町)
苫小牧RC	1月1日(金)休会 1月8日(金)夜間例会「新年家族会」18:00～ 場所:グランドホテルニュー王子



クラブ幹事の変更について

函館五稜郭RCの幹事が12月1日より下記の方に変更になりましたのでご連絡致します。

新幹事 **上加淳悦** (じょうか じゅんえつ) 職業分類:冷暖房設備工事

勤務先: 上加冷機工業(株) 代表取締役

〒041-0805 函館市赤川1-3-4

電話 0138-46-7701 FAX 0138-46-8678

自宅: 〒041-0835 函館市東山3-16-8

電話 0138-56-8005

文献資料室だより

小樽南RCの見延庄三郎ガバナー補佐(第6グループ)より文献資料室を利用しての感想とご意見をお寄せいただいておりますのでご紹介致します。

【文献資料室にお礼と期待】

見延庄三郎(小樽南RC)

物事はその因って来る原因や経緯がわからないと真の理解が得られないことがよくあります。決議23-34もその典型例です。

普段は不勉強でもロータリアンは務まりますが、地区の役員やクラブ会長等のリーダー職に就けば、理論武装も必要になります。そんな時ロータリーの図書館が文献資料室です。時々利用し、情報の質と量の補強に役立っている事に感謝しています。

札幌の合同事務所内にこのような資料室があることを多くの会員は知らないのでは? もっとPRしてはどうでしょう。

最近インターネットを利用し、ガバナー月信に掲載されている文庫通信から居ながらにして情報を取ることが出来、助かっています。文献資料室もインターネットを通しての情報発信機能を持てたら、もっと会員に喜ばれるのではないのでしょうか。

苫小牧北ロータリークラブ 会員訃報

謹んでお悔やみ申し上げますとともに
心からご冥福をお祈りいたします。



千葉辰一 会員

ちば たついち

- 平成21年11月30日ご逝去(享年 82歳)
- ロータリー歴
1989年1月10日入会
2001~2002年度 会長エレクト
2006~2008年度 国際奉仕委員会 委員長
2009~2010年度 出席委員会 委員長
- 表彰
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
15年間100%皆出席



米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます

■米山功労者

留 萌 R C	二ノ宮	清 信	会 員 (1回)	11月30日
美 唄 R C	吉 村	誠 治	会 員 (5回)	11月11日
美 唄 R C	井 門	英 明	会 員 (6回)	11月26日
札幌あけぼのRC	砂 原	雅 治	会 員 (3回)	11月24日
札幌西北RC	三 上	直 彦	会 員 (10回)	11月 6日
札幌東 R C	加 藤	國 彦	会 員 (1回)	11月30日
札幌東 R C	須 田	幸 男	会 員 (3回)	11月30日
札幌東 R C	鈴 木	俊 幸	会 員 (1回)	11月30日
札幌東 R C	吉 山	八 郎	会 員 (7回)	11月30日
札幌真駒内RC	金 坂	和 正	会 員 (6回)	11月13日
札幌真駒内RC	吉 村	洋 吉	会 員 (20回)	11月13日
札幌真駒内RC	丸 山	淳 士	会 員 (4回)	11月20日
室 蘭 R C	松 岡	健 一	会 員 (10回)	11月20日

■米山功労クラブ

札幌東 R C (36回) 11月30日

ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます

■マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

深 川 R C	永 井	久 之	会 員 (3回)	11月27日
深 川 R C	山 田	圭 二	会 員 (1回)	11月27日
羽 幌 R C	大 石	洋 一	会 員 (1回)	11月20日
羽 幌 R C	舟 橋	隆 宏	会 員 (1回)	11月20日
留 萌 R C	行 徳	幸 治	会 員 (1回)	11月30日
留 萌 R C	平 井	誠 治	会 員 (3回)	11月30日
留 萌 R C	渡 部	英 次	会 員 (5回)	11月30日
江 別 R C	八 島	壯 之	会 員 (2回)	11月 6日
札幌北 R C	小 林	俊 之	会 員 (3回)	11月20日
札幌西北RC	小 林	秀 樹	会 員 (1回)	11月13日
岩 内 R C	井 戸	幸 夫	会 員 (1回)	11月13日
小 樽 R C	菰 田	尚 正	会 員 (1回)	11月27日
室 蘭北 R C	村 井	玄 乙	会 員 (2回)	11月30日
苫小牧北RC	伊 藤	竹 雄	会 員 (5回)	11月27日
苫小牧北RC	菊 地	芳 彦	会 員 (2回)	11月27日

■ポール・ハリス・フェロー

深 川 R C	長谷川	幸 央	会 員	11月27日
羽 幌 R C	出 口	治 康	会 員	11月20日
江 別 R C	石 堂	了 正	会 員	11月 6日
小 樽 R C	上 浦	庸 司	会 員	11月27日
小 樽 R C	清 水	雅 章	会 員	11月27日
伊 達 R C	早 瀬	芳 宏	会 員	11月20日
室 蘭 R C	飯 尾	哲 也	会 員	11月20日



文庫通信

(267号)

このたびは昨年度の
会計報告をさせて頂きます。

ロータリー文庫 2008~2009年度会計報告

(貸借対照表)

資 産		負 債	
現 金	42,120	社会保険料預り金	153,202
普 通 預 金	8,234,480	雇用保険料預り金	46,162
定 期 預 金	0	負債合計	199,364
現 預 金 合 計	8,276,600	正 味 財 産	
仮 払 金	376,380	次期繰越剰余金	8,453,616
合 計	8,652,980	合 計	8,652,980

(収支計算書)

収 入		支 出	
会 費 収 入	23,296,150	委員会費	1,398,642
雑 収 入	135,137	業 務 費	9,419,017
		賃貸管理費	9,472,613
		人 件 費	7,651,068
		予 備 費	0
当 期 合 計	23,431,287	当期合計	27,941,340
前期繰越収支差額	12,963,669	当期収支差額	△ 4,510,053
収 入 合 計	36,394,956	次期繰越収支差額	8,453,616

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F http://www.rotary-bunko.gr.jp
TEL(03)3433-6456 FAX(03)3459-7506 開館/午前10時~午後5時 休館/土・日・祝祭日

2009~2010年度 地区カレンダー (2010年1月~6月)

年	ロータリー月間強調事項	月	日(曜日)	地 区 の 行 事	日(曜日)	国内行事・国際行事	グループ内の行事 I M、クラブ周年行事	
2010 (平成22年)	ロータリー理解推進月間	1	7(木)~11(月) 9(土) 23(土)	各クラブ半期報告、人頭分担金送金 WCS検証ツアー(タイ・ノンカイ) 2010学年度米山奨学生選考試験 (札幌) ガバナー補佐会議(札幌)	16(土) 18(月)~24(日)	国際協議会(米国・サンディエゴ)	札幌幌南RC45周年記念式典	
	世界理解月間	2	27(土)	ガバナー補佐研修セミナー(札幌)	6(土) 12(金)		苫小牧北RC40周年記念式典 小樽南RC50周年記念式典 第6グループI M 第9グループI M 三石RC40周年記念式典 第8グループI M	
	ロータリー創立記念日、 世界理解と平和の日 (2/23)		27(土)	地区チーム研修セミナー(札幌)	12(金) 13(土) 14(日)			
	識字率向上月間 世界ローターアクト週間 (3/13を含む1週間) 世界ローターアクトの日 (3/13)	3	13(土) 13(土)~14(日)	2010年3月終了米山奨学生歓送会 会長エレクト研修セミナー(札幌) ロータリー財団セミナー・ 米山セミナー(予定)				
	ロータリー雑誌月間	4	2(金) 18(日)	スウェーデン第2630地区より GSEメンバー受入(~5/1) 地区協議会(札幌)	3(土) 11(日) 23(金)~24(土) 24(土) 25(日)~30(金)	第3700地区(韓国)地区大会 2010年規定審議会(米国・シカゴ)	第10・11グループ合同I M 第1グループI M 第4・第5グループ合同I M	
		5	1(土)	スウェーデン第2630地区へ GSEメンバー派遣(~5/30)	22(土) 22(土) 29(土) 29(土)		砂川IRC40周年記念式典 第2グループI M(予定) 函館五稜郭RC40周年記念式典 第7グループI M(予定)	
	R I 国際大会 ロータリー親睦活動月間	6	5(土) 6(日)	米山学友主催家族懇親会 新旧地区委員長・ガバナー補佐 合同引継会議(滝川) 帰国財団学友報告会(予定) ローターアクト地区年次大会 インターアクト地区年次大会	5(土) 5(土) 12(土) 20(日)~23(水) 26(土)	国際大会(カナダ・モントリオール)	恵庭RC40周年記念式典 伊達RC50周年記念式典 栗山IRC40周年記念式典 札幌手稲RC40周年記念式典	
	7 ~ 9		渡邊年度残務整理					

2010年1月のロータリーレート 1ドル90円

出席率・会員数

グループ	クラブ名	例会数	会員数				出席率
			09.07.01	09.11.30	増減	内女性	
1	深川	3	32	33	1	2	88.08
	羽幌	4	45	47	2	1	86.96
	妹背牛	4	9	9	0	0	83.34
	小平	4	11	11	0	0	81.82
	留萌	4	41	43	2	1	80.61
	小計		138	143	5	4	84.16
2	赤平	3	29	32	3	1	92.30
	芦別	4	37	38	1	0	84.46
	砂川	4	55	54	-1	0	95.34
	滝川	4	96	96	0	2	75.00
	小計		217	220	3	3	86.78
3	美唄	4	33	33	0	0	92.59
	江別	4	34	34	0	1	92.65
	江別西	3	30	30	0	3	87.70
	岩見沢	4	85	87	2	0	96.77
	岩見沢東	3	33	36	3	4	93.03
	栗沢	4	24	24	0	1	100.00
	栗山	4	27	27	0	2	95.00
	当別	3	31	31	0	0	90.14
小計		297	302	5	11	93.49	
4	札幌幌	4	102	125	23	0	97.55
	札幌あけぼの	4	13	15	2	1	93.30
	札幌はまなす	3	19	19	0	4	85.96
	札幌北	4	43	42	-1	5	92.27
	札幌モーニング	4	51	51	0	0	70.12
	札幌西	3	58	57	-1	4	92.24
	札幌西北	4	40	39	-1	5	96.05
	札幌手稲	4	33	37	4	2	92.57
小計		359	385	26	21	90.01	
5	札幌東	4	118	122	4	0	98.50
	札幌清田	3	18	18	0	4	100.00
	札幌幌南	4	61	64	3	0	100.00
	札幌真駒内	4	31	31	0	3	96.67
	札幌南	3	80	81	1	0	98.77
	札幌大通公園	4	12	13	1	4	76.90
	札幌セントラル	3	10	10	0	6	63.30
	新札幌	4	28	28	0	2	83.75
小計		358	367	9	19	89.74	
6	岩内	4	19	20	1	0	74.33
	倶知安	4	40	40	0	4	73.50
	小樽	3	65	69	4	0	90.48
	小樽南	4	76	76	0	1	85.80
	小樽銭函	4	22	23	1	2	77.00
	蘭越	4	9	9	0	0	80.55
	余市	4	41	40	-1	4	83.00
小計		272	277	5	11	80.67	

11月出席率・会員増減数

クラブ数	73クラブ
期首会員数	2,700人
当月末会員数(女性)	2,786人(105人)
増加会員数	86人
当月平均出席率	84.80%

グループ	クラブ名	例会数	会員数				出席率
			09.07.01	09.11.30	増減	内女性	
7	千歳	4	57	57	0	3	75.00
	千歳セントラル	3	37	38	1	2	88.60
	恵庭	4	35	41	6	2	85.76
	北広島	3	16	16	0	0	83.34
	長沼	4	20	20	0	3	82.50
	由仁	4	11	11	0	1	80.00
	小計		176	183	7	11	82.53
8	えりも	4	21	22	1	0	96.34
	三石	4	15	15	0	1	88.30
	様似	3	22	23	1	1	71.00
	静内	4	70	75	5	1	83.59
	浦河	3	36	36	0	2	100.00
	小計		164	171	7	5	87.85
9	伊達	3	55	55	0	0	78.18
	室蘭	4	41	44	3	0	65.12
	室蘭東	3	36	40	4	0	90.80
	室蘭北	3	35	38	3	3	100.00
	登別	4	31	31	0	1	83.87
	洞爺湖	4	7	7	0	0	89.20
	小計		205	215	10	4	84.53
10	函館	4	83	86	3	0	75.25
	函館亀田	3	42	40	-2	2	93.69
	森	4	34	39	5	0	66.00
	七飯	3	17	17	0	0	70.60
	長万部	4	9	9	0	0	69.37
	函館セントラル	3	31	30	-1	1	56.06
小計		216	221	5	3	71.83	
11	江差	3	18	18	0	2	72.00
	函館五稜郭	4	55	55	0	0	97.69
	函館東	3	43	44	1	4	80.30
	函館北	4	28	28	0	0	86.48
	北斗	4	17	17	0	1	57.00
	松前	2	5	6	1	0	50.00
小計		166	168	2	7	73.91	
12	白老	3	28	27	-1	0	83.70
	苫小牧	4	48	52	4	2	82.81
	苫小牧東	4	27	26	-1	2	91.45
	苫小牧北	3	29	29	0	2	97.78
	小計		132	134	2	6	88.94
合計		2,700	2,786	86	105	84.80	



ロータリーの未来は
あなたの手の中に

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2009-2010

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2510

国際ロータリー第 2510 地区
2009-2010 年度 ガバナー



2009-2010 Governor
Yasuhisa Watanabe

渡 邊 恭 久

〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西 11 丁目 4 大通藤井ビル 7F
TEL 011-207-2510 FAX 011-207-2512 E-mail: rid2510@rotary.gr.jp
<http://www.ri2510.gr.jp/>